

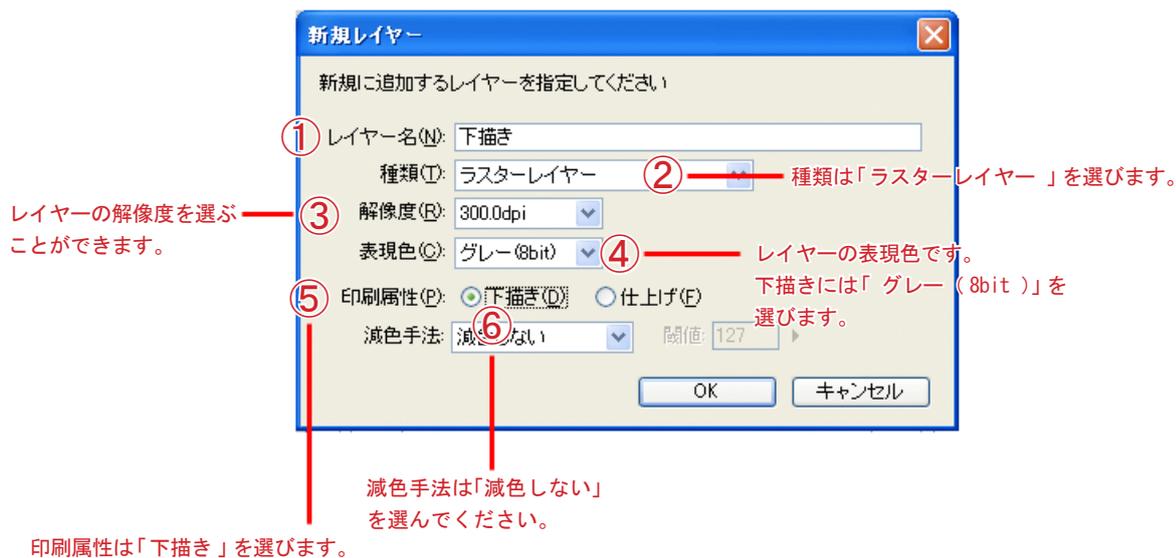
下描きをしよう！

今回はよいよ下描きです。実際にネームを元に絵を描いていきます。

前回ネームを切った作品を開き、ネームのレイヤーの上に下描き用のレイヤーを新しく作って、鉛筆ツールで絵を細かく描き込んでいきます。

下描き用のレイヤーをつくろう

新しくレイヤーを作るには、レイヤーパレットの「新規レイヤー」のボタンをクリックします。クリックすると「新規レイヤー」作成のダイアログが表示されます。



1 レイヤー名

「下描き」とか、わかりやすい名前をつけておくとよいです。

2 種類

ComicStudioでは様々な特徴をもったレイヤーを作ることができます。「種類」をクリックすると、何種類もレイヤーが出てきますが、**下描きの際は「ラスターレイヤー」を選んでください。**

3 解像度

レイヤーの解像度が選べます。ペン入れ用のレイヤーは印刷に最適な600dpi、下描きは印刷しないので、300dpiか150dpiくらいで……というような使い分けができます。

4 表現色

レイヤーで使用できる色を選べます。

黒 (1bit)	黒を使用できます。
白黒 (2bit)	黒、白を使用できます。
グレー (8bit)	黒、グレーを使用できます。グレーを選んだ場合は、「減色手法」の設定をすることができます。
カラー (32bit)	黒、グレーの他、カラーで描画することができます。

5 印刷属性

印刷の属性を「仕上げ」か「下描き」にするか選べます。

6 減色手法

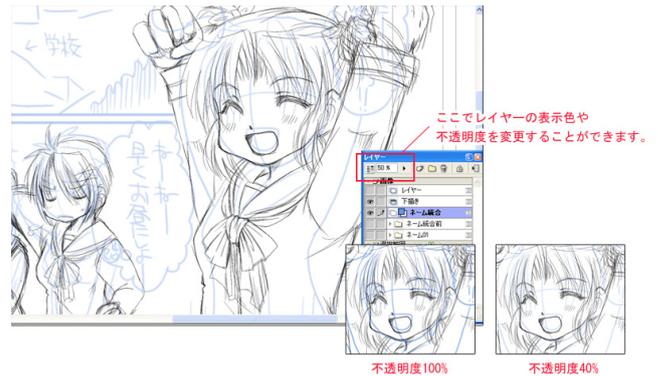
表現色で「グレー」を選んだ時のみ設定可能です。「減色しない」を選ぶと、グレーで描画できます。今回は下描きなので、「減色しない」を選んでください。

今回は下描き用なので、「ラスターレイヤー／300dpi／グレー (8bit)／下描き／減色しない」でレイヤーを作ります。

下描きをしよう！

新しく下描き用のレイヤーを作ったら、鉛筆ツールでネームを元に、下描きしていきます。

自分でペン入れしやすいところまで絵を細かく描き込んでいきます。ネームの色が濃くてわかりにくい場合は、レイヤーパレットでネームを描いてあるレイヤーの不透明度を下げましょう。そうすると、表示が薄くなって下描きしやすくなります。



画面を回転して描きたい！

下描きしていると、「うーん…この角度描きにくいな…」と思う時があります。そんな時は「回転ツール」で原稿用紙を回転することができます。

画面の回転は、「回転ツール」で行う以外にも、ページウィンドウ上部のスライダーやキーボードの「Shift+スペース」キーを押しながら画面をドラッグすることで行うことができます。もし、回転した画面を元の角度に戻したいときは……

- ① 回転ツールをダブルクリックする。
- ② 回転ツールを選んで画面をダブルクリックする。
- ③ 「Shift+スペース」キーを押しながら、画面をダブルクリックする。
- ④ ページウィンドウ上部の「表示を元に戻す」ボタンを押す。

以上の方法で元に戻すことができます。



左右反転して、デッサンを確認したい

下描きをしたら、紙を裏返してデッサンを確認して、また修正して……紙原稿の時にやっていた人も多いと思います。これも、「表示」メニューの「回転・反転」の「左右反転」を選ぶと簡単に表示を左右反転させることができます。他にも、ページウィンドウ上部の「左右反転」ボタンを押してもOKです。表示を元に戻したい時は、「表示」メニューの「回転・反転」の「通常表示」を選ぶか、ページウィンドウ上部の「表示を元に戻す」ボタンを押すことで、表示を元に戻すことができます。

そんな感じで下描きをしていきます。もしも、下描きをやり直したいときは消しゴムで消すか、新しい下描き用レイヤーをかさねていってもOKです。（背景は後で3D背景機能などを使ってペン入れ時にそれっぽくしていこうと思いますので、きっちり描いていません。）下描きが完成したら、次はペン入れです。

